

令和7年度 第1回資料館学芸委員会

開催日時	令和7年7月24日(木) 開会時刻 午前9時30分 閉会時刻 午前11時
開催場所	丸亀市立資料館2階ギャラリー
出席者	出席 学芸委員 田中 健二 委員長 川元 紀恵 副委員長 信原 清 委員 泉 政博 委員 杉尾 潤子 委員 事務局 教育長 末澤 康彦 教育部長 山下 友通 文化財保存活用課長 東 信男 資料館長 大北 知美 香川 章栄 滝澤 和湖
議題	(1) 令和6年度資料館事業報告について (2) 令和7年度資料館事業について (3) 収蔵資料の保管場所問題について (4) その他
傍聴者	無

発言者	発言要旨
	<p>【開 会】</p> <p>【教育長あいさつ】</p> <p>【会議の成立】 過半数を超える出席により会議成立</p> <p>【委員長あいさつ】</p> <p>【署名委員選出】 泉委員</p>
委員長	<p>それでは、議題（１）「令和５年度資料館事業報告について」の説明を事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>議題第１号 令和６年度 資料館事業報告について説明します。 それでは、資料の「令和６年度 資料館事業報告」をご覧ください。</p> <p>まず、【１階企画展示室】の展示状況について説明します。 ５月３日、４日のおしろまつりでは、丸亀市文化協会による市民展（書道）を開催し、２日間で６４０人の入場者がありました。 ７月１３日から９月１日までは、城泊事業のスタートを記念して、「延寿閣別館」の関係資料とともに、明治・大正・昭和初期の丸亀にスポットをあてた「わたしたちのまちの明治・大正・昭和」を開催しました。４２日の会期で入場者は３，６２８人でした。 また、会期中に資料や作品などの解説を行うギャラリートークを２回行いました。 次に１０月１２日から１１月１７日までは、「ニッカリ青江公開展 かがやく日本刀の饗宴」と題して、京極家の名刀ニッカリ青江を３年ぶりに公開するとともに、日本美術刀剣保存協会四国讃岐支部会員の所蔵する名刀や刀装具の名品を展示しました。３３日の会期で入場者は１３，７００人でした。この企画展は観覧料を一般７００円とし、うち１００円は石垣復旧応援募金に充てました。 企画展に合わせて様々な関連行事を催しました。これについては、</p>

順次事業別に説明いたします。

また、会期中には、市の観光部局や事業の主旨に賛同いただいた地元事業者などにより、関連の催しが実施されました。例をいくつか挙げると、ニッカリ青江のグッズの作製と販売、ニッカリ青江をイメージした飲物や料理の提供、大手一の門内でのナイトレストランの実施、中津万象園や四国水族館などを周遊するスタンプラリーなどです。

なお、企画展の合計入場者は 17,968 人となりました。

次に、資料の【2階 常設展示室】の展示状況をご覧ください。

常設展として、年間を通じて資料を入れ替えながら、「生駒・山崎・京極の歴史と文化展」を開催し、丸亀城の歴史や文化を紹介しました。

また、常設展示室では、部分的に資料の入れ替えを行い、昨年度は、3回の展示替えをしました。それぞれのコーナー展示は資料の通りです。

常設展示室の入場者は 19,217 人でした。

つづきまして、【2階ギャラリー】の展示状況です。

「ニッカリ青江公開展」の会期にあわせてギャラリーでは、刀剣乱舞 ONLINE 刀剣男士等身大パネルの設置、舞台「刀剣乱舞」にっかり青江役・佐野真白氏の写真パネルと、べっこ先生による刀剣男士にっかり青江新描き下ろしイラストの展示、ハガネのまち「安来市」による「たたらと玉鋼」の展示などを行いました。

33 日間で、入場者は 6,905 人でした。

【1階ロビー】の展示状況です。

ロビーでは、通年展示している変り兜のほか、3月4日から3月31日まで、城西小学校4年生が校外学習で、石垣復旧工事の現場や、丸亀城の歴史について学んだ内容をまとめた「城西小4年生 校外学習成果の展示」を行いました。

次に、企画展関連の講座について説明します。「ニッカリ青江公開展」に合わせて、日本刀の基礎知識を学習する「日本刀入門講座」を2日間で4回開催しました。講師は、日本美術刀剣保存協会四国讃岐支部の常任理事をされている丹生寿男先生にお願いしました。非常に好評で、講座後には活発に質疑応答がされました。

	<p>次の頁をご覧ください。</p> <p>【屋外民具展示室】の展示状況です。</p> <p>民具展示室では、年間を通じてうちの製作用具と衣・食・住の生活用具を展示しました。</p> <p>資料には【参考】として、令和3年度からの入館者数の推移を記載しております。</p> <p>こちらには、講演会や関連行事の参加者も含んでおります。令和6年度の資料館の総入館者数は44,148人で、令和5年度と比べて21,445人と大幅に増加しました。</p> <p>これは、ニッカリ青江を公開し、全国から来館者が訪れたことが大きな要因となっております。</p> <p>つづいて【資料館資料整備状況】について説明します。</p> <p>収蔵資料は令和6年度末で88点増加し、39,442点となりました。新しく収蔵資料となった主な資料は、明治・大正の櫛・簪、明治・大正時代の京極家当主京極高德の肖像写真などです。</p> <p>購入した資料は、四つ目結紋入耳盥、四つ目結紋菊形皿、歌川広重作「讃岐 象頭山遠望」などです。これらの資料は、今後順次展覧会で公開し、有効に活用していく予定です。</p> <p>最後に【資料の特別利用・レファレンス件数】についてです。</p> <p>資料の閲覧、撮影、複写、貸出など特別利用は59件、問い合わせに対する回答は、137件、合計196件でした。</p> <p>郷土史に関する問い合わせは、時代も内容も様々で、その調査に時間もかかることから苦慮しているところです。しかしながら、一般の方の郷土史学習を補佐することは大切な業務ですので、今後も丁寧に対応してまいりたいと思います。</p> <p>以上で報告を終わります。</p> <p>委員長</p> <p>ありがとうございました。それではご報告について委員の皆様何かございますか。</p> <p>2枚目の入館者数の推移のところですが、令和6年度に急激に伸びていますね。ニッカリ青江の展示の影響かと思いますが、大規模改修を行ったのはいつですか。</p> <p>事務局</p> <p>大規模改修は、平成28年度に工事を行い、29年に開館しました。</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

委員	昔、文化行政は文化協会を中心に行っていて、資料館では多目的に文化関係のことをしていましたが、今はあまりないですね。ここは歴史の常設展示場になりました。
委員長	この施設は歴史に特化しましたね。
委員長	話は変わりますが、コロナの時にだいぶ入館者がどこの館も落ち込みました。それがだんだんと増えて前の状態に戻ってきました。コロナの時はどれくらいの入館者数でしたか。
事務局	コロナの時は、入館者数が1万代にとどまっていた。
委員長	その状況を耐えきりましたね。
事務局	最近の傾向としては、インバウンドのお客さんが増えています。天守に行かれた方で資料館に来られる方もいます。
委員長	それはいいですね。
事務局	ただ、解説など含めてインバウンド対策が追いついていないところが課題です。お城、天守に関しては、昨年度看板の入れ替えを行い、QRコードを読み込むと多言語の解説が出るようになっていきます。
委員長	当館では対策はされていますか。
事務局	館の案内のパンフレットに関しては、英語と中国語を別々につくっています。ただ、解説に関しては、常設展でもまだできておりません。
委員長	展示を見るだけではあまり面白くないので、2階の常設展と合わせて企画の方がいいですね。2階のギャラリーの展示も面白いですね。ニッカリ青江は今年度展示する予定ですか。
事務局	今年度はニッカリ青江の展示予定はありません。毎年ではなく3年に1回程度のペースで行っています。地元事業者と観光部局と合わせて色々なイベントをしていて、昨年は資料に上げているもの以外にも、刀剣乱舞とコラボしたマンホールや自動販売機の制作を他課で行いました。他に、延寿

	<p>閣別館を公開した時に、表装し直したニッカリ青江の押形を床の間に飾り、2 日間で 800 人ほど来ました。最近は関連イベントを多く催していて、その調整が 1 年ほどかかるので、毎年はできていないのが現状です。</p>
<p>委員長</p>	<p>そのために 3 年に 1 回程度の開催となっているのですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>開催の 1 年くらい前から、関係する方と 2 か月に 1 回程度会を開いて調整をしています。</p>
<p>委員長</p>	<p>毎年同じものを行うより、熟考した上で企画展を行ったほうがいいですね。</p> <p>他にはありませんか。ないようでしたら議題(2)に進みたいと思います。議題(2)の説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、議題第 2 号、令和 7 年度 資料館事業について説明いたします。3 枚目の資料をご覧ください。</p> <p>まず、5 月 3 日、4 日のおしろまつりでは、丸亀市文化協会主催の市民展(書道)を開催し、535 人の入場者となりました。次に資料館主催の企画展ですが、こちらのチラシをご覧ください。7 月 12 日より、「丸亀の旅-江戸時代の海と陸をめぐる-」を開催しており、会期は 8 月 31 日までとなっております。この展覧会は、丸亀市市制施行 20 周年を記念して開催するもので、藩主の領内巡検や金毘羅参詣、四国遍路など郷土の旅を古文書や浮世絵を通して紹介します。また、会期中には 2 回、担当学芸員による展示解説を行います。</p> <p>次に、10 月 11 日から 11 月 30 日までは、「京友禅 きものの美 -大正・昭和初期を中心に-」と題して、きものの文化を紹介する企画展を開催します。この展覧会では京友禅の染色分野で初の人間国宝となった三代・田畑喜八氏の作品と、当館所蔵の大正から昭和初期の、成熟期を迎えた時代のきものを合わせて展示し、日本人の美意識を紹介します。</p> <p>また、会期中には、コレクションの所蔵者の方と、着物に造詣が深い日本画家の方とに、展示品を解説していただきます。</p> <p>このほか、本島笠島地区が、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されて 40 周年を迎えることから、瀬戸内国際芸術祭の秋会期にあわせて、笠島地区の真木邸で、「笠島の 40 年のあゆみ」を紹介するパネル展を出張展示いたします。</p> <p>令和 7 年度の資料館事業については以上です。</p>

委員長	<p>ありがとうございました。議題(2)に関して、何かご意見等はございますか。笠島は重要伝統的建造物群保存地区のところですか。</p>
事務局	<p>そうです。信原委員がお詳しいかと思えます。</p>
委員	<p>秋が瀬戸芸(瀬戸内国際芸術祭)の会期になっており、インバウンドの方が増えることで、資料館にもお客さんが流れてくる期待もあるかと思えますが、インバウンドの対応が進んでいないようですね。</p> <p>瀬戸芸で本島に来たお客様をこちらに呼び寄せるような企画は考えているのでしょうか。</p>
事務局	<p>具体的には、インバウンド対策はまだ考えておりませんが、大阪万博や瀬戸芸があることや最近高松空港からのお客様も増えており、インバウンドの方が非常に多いということ、インバウンドの方が日本の文化や芸術がお好きであることから、秋には着物という日本の伝統工芸品を展示し、海外の方にも日本の文化を紹介しようということで展覧会を企画しています。</p> <p>瀬戸芸に来られた方の具体的な対応はこれからですが、展覧会に来ていただくにあたり、できるだけ空港や島からの導線を考えなければならないと思っています。</p>
委員	<p>着物を着る体験みたいなものを企画するのはどうでしょうか。高校生たちが着付け体験などしていますよね。</p>
事務局	<p>今回は、伊可田屋さんという着物の有名な染匠のお宅から着物をお借りし、そちらのお宅の奥様に着物を着てお話しをしていただく予定です。他に関することはまた考えていきたいと思えます。</p>
委員長	<p>よろしいでしょうか。他にございませんか。</p>
委員	<p>本島での瀬戸芸関連イベントは色々するみたいですが、資料館にも人が流れるようになればいいなと思えます。具体的には今言われたようなことをすればいいですね。</p>
委員	<p>今年市制施行 20 周年なので、何か記念になるようなことを市が組織全体で取り組むのかなと思っていたのですが、バラバラに取り組まれていますね。平成 9 年には丸亀城が築城 400 年祭と国民文化祭があり、各部が協力して取り組みをしていました。例えば、国民文化祭では、能やオーケスト</p>

	<p>ラ、ファッションショーなどを行いました。</p> <p>その時、美術館がちょうど開館 10 周年だったので、国宝・重要文化財の仁清の壺を 10 点集めて展覧会を開催しました。また、何か記念に残るものを買おうということになり、ニッカリ青江を購入しました。もちろん市民の方からの否定的な意見もありましたが、現在になって貴重な歴史資料として価値を集めています。</p> <p>記念の節目の年に、モノは買わなくてもいいのですが、何か残るようなものを考えてイベントを組むのがいいと思います。今後、一つの課だけが取り組むのではなく、組織全体でやっただけがいいと思います。インバウンドでも役立ちますし、たくさんの人に来てもらって地元を感じてもらえると思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。20 周年というのは合併後の 20 年でしょうか。20 周年の丸亀市の取り組みとしてはどういったものがあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>秘書課がとりまとめをしており、昨年度、各課での 20 周年のイベント・行事を調査し、調整をしました。資料館は 10 周年の時に京極家の家宝展という展覧会を開催しました。</p> <p>その時と同様に、同じく丸亀に関係があるテーマがいいということと、コロナ禍明けで旅行が人気になってきた時期だったので、江戸時代の丸亀の旅の展覧会が資料館の 20 周年の事業になりました。他の課でも 1 年間を通して 20 周年のイベントが執り行われています。</p>
委員長	<p>他の課で行われているイベントは、どこを見たら分かるのでしょうか。</p>
事務局	<p>丸亀市の HP には、20 周年の関連イベントが掲載されています。また、秘書課の方で記念グッズも作成してしまして、資料館でも、7 月の土日に先着 30 名様に記念グッズとしてクリアファイルをお配りしました。</p>
委員長	<p>市民の方以外は情報が届かないので、HP を見たら分かるのはいいですね。広報によって全体の取り組みが伝えられますし、高齢者の方も HP を見ているという話を聞いたことがあります。</p>
委員	<p>予算もつかなければ、市民を引き付けるものがなかなかできないと思うので、今年のような記念の年には、早めに取り掛かってもらえたらいいと思います。今後、いろいろな機会を捉えて、早くから準備をして、実践していただけたら、資料館の方もより充実するのではないかと思います。</p>

<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。他にご意見はございませんか。それでは、議題(2)を終わらせていただきます。議題(3)は収蔵資料の保管場所問題についてです。よろしくお願い致します。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在の資料館の状況について説明します。</p> <p>資料館は、今年で開館 53 年を迎え、これまでに収集した資料は 4 万点近くになりました。お配りした資料をご覧ください。現在資料館では、館内の3つの収蔵庫と館外の 2 か所の倉庫で、資料の文化財的な価値、種類や素材に応じて、資料を収蔵・管理しています。</p> <p>年々収蔵資料は増加していますが、資料館が史跡内にあるため、施設を拡張することはできず、資料を保管するスペース不足の課題が常態化しております。</p> <p>このように、収蔵スペースが不足しているため、現在、収集資料については、郷土に関するもののうち「既に収集している資料と同じ価値、種類のもものは収集を見送る」という基準のもと、文化財的な価値や、展示に利用できるか否かなども考慮し、受入れを精査しております。</p> <p>委員の皆様はこの問題について、ご意見やなにかよいご提案などいただきたいのですが、いかがでしょうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>紙資料の燻蒸はされているのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>1 年に 1 回実施しています。</p>
<p>委員長</p>	<p>農具などの木工具は、シロアリ被害があると話を聞いたことがあるのですが大丈夫でしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今のところ大丈夫です。川元委員は多度津町立資料館で働かれていたので、多度津町立資料館の状況などはどうでしたか。</p>
<p>委員</p>	<p>資料の受け入れについて、以前は分からないものも多く、大事なものであるといけないということから、色々と受け入れをしていました。しかし、新しい館長に代わってからは、受け入れるものを精査して、資料で被りがあるものは別の受け入れ先を探したり、使用できないものは入れ替えをするなど対応しているようです。</p>
<p>委員</p>	<p>本島では、芝居小屋を使って資料を保管していたのですが、その施</p>

	<p>設を解体するため退去しなければならなくなりました。そのため、本島小中学校が合併になった時に中学校の一部の 2 階に収納し直しています。その過程の時に、同じような資料は一部処分しました。しかし、教室内ももう一杯で入らないと思います。</p>
委員長	<p>民俗資料は大事な文化財ですが、一つ一つが大きくてかさばりますね。</p>
委員	<p>丸亀市で発掘したものを収納する施設はありますか。</p>
事務局	<p>発掘したものは、今飯山町の旧飯山清掃センターという施設を改装して、埋蔵担当の職員がそこで整理と収蔵をしています。また、野球場では中の池遺跡から出た遺物の一部の展示・パネル展示をやっています。</p>
委員長	<p>保管場所の問題は、収納場所が足りないということですね。</p>
事務局	<p>はい。容積が足りないという状態で、ギャラリーの奥側も元はギャラリーでしたが、そこも仕切って倉庫にして資料を保管しています。</p>
委員長	<p>そうですね。確かに元々は広がったですね。</p>
事務局	<p>かなり精査して受け入れしている状態で、民具資料に関しては、複数あるものは受け入れをしていません。しかし、歴史資料などで、例えば京極家関連、藩士の家に伝わるもので、代替わりをするなどで寄贈依頼があった場合は、非常に貴重なものになりますので、一括で受け入れしています。また、郷土史の先生がお亡くなりになり、今までの研究資料を受け入れてほしいという話になれば、かなりの数の資料を受け入れしなければなりません。</p>
委員長	<p>ここは館内でもスペースがないですね。史跡であるため、周りの敷地も増築することは無理ですね。</p>
事務局	<p>民具の資料を多く収蔵している瀬戸内海歴史民俗資料館の専門の学芸員の方に色々聞いてみました。同じ資料を収蔵している場合、除籍という扱い、いわゆる処分をすることがあるのか聞いたところ、除籍はしていないと回答がありました。除籍をするか否かの選択がどの館でも大きな壁となっ</p>

	<p>ています。市として受け入れたものなので、処分ができないのが現状です。</p>
委員長	<p>私は文化財担当ではあったのですが、大型の資料をどうするかということは問題だと思います。第 3 収蔵庫の写真見ると、棚を作った方がよいのではないのでしょうか。床に置いたままだと大変だと思います。</p>
委員	<p>この富士見町の倉庫は借りているのでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。ボートレース事業局が管理しているところを借りています。文化財保存活用課だけが使っている場所ではなく、間借りしている状態です。ここには、旧飯山町の郷土資料室にあった資料をこの倉庫に移し、保管しています。合併をしたので、民具資料としては、同じようなものがたくさんあります。</p>
委員	<p>何か施設をつくるときに資料を入れる場所をつくるのはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>さぬき市の歴史民俗資料館では、収蔵展示という収蔵庫自体を展示室にしている、棚をたくさん置き、その場所をお客様が通って見てもらうといった形にしています。</p>
委員長	<p>観音寺市に休校になった学校がありまして、そこにスペースを作って展示場を作っているところがあります。資料がたくさん置いてあって楽しかったです。</p>
教育長	<p>ふるさと学芸館でしょうか。</p>
委員長	<p>そうです。</p>
教育長	<p>小学生が実際に石臼を引いたり、ご飯を炊いたりして食べさせたり、洗濯物をしたり、そういった昔の体験をしていますね。</p>
委員長	<p>先生方は指導するのが大変だと思いますけれども、小学生にさせてあげたら楽しそうですね。資料がたくさんあって困るというより、ふるさと学芸館のように有効活用ができそうな手段を考える方がいいと思いませんか。</p>
委員	<p>学校の空き教室などを借りて、収蔵庫にするという話が出ますが、色々な制約があつて難しいようです。</p>

	<p>学校でも昔の体験をするようなところを作ったらいいと思いますけれども、教えることのできる人が必要である上、管理もしなければならないのであまりしたがりないそうです。多度津の資料館には、毎年昔のくらしの体験ということで、以前は多度津の小学校4校から生徒が来ていましたが、数はだんだん減りまして、現在は多度津小学校のみ来ています。</p>
委員	<p>旧校舎の教室数や広い教室を使うのはどうでしょうか。耐震の基準が満たしているかは心配ですが、教室の一部を残し、こういった資料の保管場所に充てられないかなと思いました。</p>
委員	<p>丸亀市域の小中学校の統廃合などは今どうなっていますか。</p>
教育長	<p>具体的な動きというものはないのですが、今年丸亀市立学校適正配置等検討委員会という委員会を立ち上げまして、色々な方々の話を聞いてご意見をたまわることは進めております。</p>
委員長	<p>丸亀の島しょ部の小学校で活用センターとして使っていたところがありましたね。</p>
事務局	<p>手島の自然教育センターですね。</p>
委員	<p>近年、丸亀市にある保育所が合併するという事になった時、その場所を壊さずに別の施設として使用しています。地震で危なければだめだと思いますけれど、そういったことを考えていたら収蔵に使える場所はまだまだあるのではないかと思います。</p>
部長	<p>幼保施設関係は、老朽化が進んでいるところは統廃合をするなど計画しているものがあって、空いた保育園や幼稚園の有効活用については、今後市全体で利用できるように調整はしなければならないと思います。</p>
委員	<p>最近、幼稚園と保育園が統合してこども園になり、別個に建てたり、どちらかの施設に移ったりすることがかなり進んでいるようなので、そういった場所を収蔵施設に使えるといいと思います。</p>
委員	<p>生涯学習センターの代わりとして使用されている施設も、市民会館ができることから、来年の8月いっぱい終了します。そういう空き施設が収蔵施設として活用できたらいいかなと思いました。</p>

<p>委員長</p>	<p>これだけ集めているので、負の財産にならないように有効活用を図るべきです。置いておくだけでは価値がないので、使えるようにしなければならぬと思います。</p> <p>それでは、この議題(3)は終わりにしましょう。議題(4)その他に移りますが、何かご意見はありますでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>学習会についてお話をさせていただいてもよろしいでしょうか。毎年資料館では、秋に学習会を開催しており、2年前は田中委員長に講師をしていただきました。今年度学習会をしていただける方いらっしゃいませんか。郷土史関連のことでお話をいただけたらと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>これは意見ですが、石垣復旧の取り組みや過程、どこまで進んでいるかなどを職員の方よりお話いただくのはどうでしょうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>先日石垣復旧の説明会について、テレビで拝見しました。栗石にメッセージを書いて入れるということをしているのですね。とても面白いことをなさっていますね。</p> <p>しかし、できましたらこの講師は、この会の委員の中で決めるのがいいですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員長のご意見に添うと、8月8日より常設展のミニ企画として、泉学芸委員の製作した姫路城、萩城など西日本の城を展示した「模型でめぐる西日本のお城」がはじまります。この展示と、10月11日からの企画展「京友禅 きものの美」を今年度の学習会としたらどうでしょうか。泉委員には、模型製作の秘話や解説をお話いただき、企画展では、担当学芸員が展示解説を行うというのはいかがでしょうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>いいですね。その苦労話やどうやって制作したかを聞きたいです。</p>
<p>事務局</p>	<p>石垣の説明については、今後調整をさせていただいて次年度以降に開催したいと思います。</p> <p>それでは、学習会の日程を、10月もしくは11月で調整して、連絡させていただきますのでよろしく願い申し上げます。</p> <p>委員の皆様から何かご連絡等ございませんか。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務連絡として、報酬と交通費については、後日お届けいただいております。</p>

ります口座に振り込ませていただきます。

このあと、1階企画展示室にて開催中の展覧会、「丸亀の旅-江戸時代の海と陸をめぐる-」をご案内いたします。担当者による解説もございますので、お時間の許す限りお楽しみください。委員の皆様、本日はありがとうございました。